

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	運営理念・年間目標の策定をして施設全体で共有しているが、振り返りを行っていない。個人の目標の策定をしているが、振り返りが十分ではない。	目標に対しての振り返りをして、次に繋がる目標を策定していくことで、施設全体のレベルアップをはかる。 個人面談実施を継続し、一年を通じて個人の目標を明確にして、個人のレベルアップをはかる。	個人面談時に施設の年間目標を振り返り、達成度など話し合う。 個人の目標を策定してもらい、目指す自分像を明確にして次のステップへつなげていく。	12ヶ月
2	26	本人・家族を含んでの担当者会議が開催できていない。個々に聞く機会しかない。 スタッフだけでなく、家族も交えて本人の生活をどうしていくのがよいのか、望まれているかなど、未来に向けて一緒に話し合いをしていない。	本人・家族の想いを直接聞くことにより、今後の生活をどうしていくのか、また現在の生活の状況を伝えることでお互いの考えや方向性を統一していく。	本人・家族と一緒に担当者会議を開催する。 計画書に沿ったケア、方向性を随時確認しながら日々の生活を支えていく。 状況に応じて計画書の見直しをする。	12ヶ月
3	35	施設内での避難訓練は行っているが、地域関係者が参加しての訓練は行われていない。 災害時における連絡・協力体制を整備していく必要がある。	災害など避難を必要とする時、人命を一番に行動できるようにする。 常に介助必要者がいることを地域の方々に意識していただけるように働きかけていく。	施設での避難訓練状況を理解していただけるように見学の機会を設け、意見をいただく。 訓練にも参加していただき協力体制など確認していく。	12ヶ月
4	5	認知症カフェの実施が出来ていない。	認知症カフェの実施。	職員の配置やボランティアの募集。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。